

えだわんだより

6月号

令和7年5月30日発行

第4期横浜市教育振興基本計画の3つの視点

3つの視点

一人ひとりを大切に

～本気で「誰ひとり取り残さない」を実現～

特別な支援が必要な子どもも、日本語指導が必要な子どもも、不登校の子どもも、子どもたちの個性に応じた「成長」を大切にします。

みんなの計画・みんなで実現

先生が一人で抱え込む教育は限界。学校の子カラ、家庭・地域の子カラ、企業・NPOの子カラを結集して、みんなで子どもを育みます。

EBPM の推進

Evidence Based Policy Making
エビデンスに基づく政策形成

先生が培ってきた経験・勘にデータをかけ合わせ、より確かな子どもの理解、早期の子どものサイン発見を実現します。

多様性を包摂し、可能性を開花させる教育

- 特別支援教室（しなやかルーム）
- 子どもが学びを自己調整し、選択できる学習デザイン



EBPM



一人ひとりを大切にした 誰一人取り残さない学び 生きる力を育む



個別最適な学び

協働的な学び

みんなの計画

みんなで実現

新たな学びのデザイン

- 自立した学習者の育成（子どもに学びを委ねる）
- 一人ひとりに寄り添ったオーダーメイドの学び
- 主体的・対話的で深い学び

共に伸び 共に輝け 感謝・感動 しなやかえだわん

- ㊦ 笑顔で あいさつ
- ㊦ だれもが 安心

- ㊦ 一人一人 みんなちがって みんないい
- ㊦ がんばろう 最後まで
- ㊦ 信じ合おう 友達



学校スローガン「協力し 信じあえる えだわん2025」

横浜市では「自ら学び 社会とつながり とともに未来を創る人」の育成を目指し、多様性を尊重し、つながりを大切にした教育を推進しています。横浜教育ビジョン 2030 の理念を実現するための計画として「第5期横浜市教育振興基本計画」（令和8年度から令和11年度）を策定する予定です。この計画は、横浜の教育の施策や取組等を定めるもので、各学校では、計画を踏まえて児童生徒への教育活動を実践していきます。この計画をより良いものにするために、児童生徒や保護者の皆様など、多くの方々の意見を聞きながら作っていきます。